

2026年度埼玉県立大学大学院
保健医療福祉政策プログラム開講科目
※開講科目は募集開始時点のものになります。開講時期等変更することがあります。

授業科目の名称	期	曜日・時限	単位数	授業形態	選択必修	科目責任者	開講場所	内容
健康福祉社会調査論	前期	火・7	2	講義	選択	若林 チヒロ	本校	社会調査の方法
定性的研究法	後期	木・7	2	講義	選択	本間 三恵子	本校	定性的分析を行うための調査及び質的分析法
統計分析法	前期	水・7	2	講義	選択	未定	本校	統計分析の考え方と手法
データヘルス特論	後期	月・7	2	講義	選択	津野 陽子	本校	実践例を含め、保健医療のビッグデータの利活用の方法と課題を学ぶ。 ①データヘルスの概要 ②自治体での保健・医療・介護データの活用 ③医療データの活用 ④健康経営におけるデータの活用
政策評価論	前期	木・7	2	講義	選択	柴田 亜希	本校	実践例を含め、公共政策の立案と評価の方法を学ぶ。 ①政策評価の意義・制度 ②政策立案・計画策定の方法・プロセス ③評価の方法(ロジックモデル、プロセス評価、アウトカム評価等) ④政策評価の実践例(母子保健、成人保健、高齢者保健福祉)
地域包括ケアシステム論	後期	火・7	2	講義	選択	筒井 孝子	本校	地域包括ケアシステムに関する理論、サービス提供体制、自治体の責務と評価、情報連携の方法等を学ぶ。
地域課題研究	通年	金・7	2	演習	必修	北畠 義典	本校	受講者が教員の助言を受け、勤務地、組織等の現状の把握や課題解決の方向性等を研究。プログラムの全ての学生・教員が参加し、ワークショップ形式で、受講者が研究結果を発表し、議論。
自由選択科目	-	-	2	-	選択	-	-	大学院博士前期課程の開講科目のうち科目等履修生を受け入れている科目を自由に履修することができる。 なお、本プログラムの修了科目として認められるのは、2単位までとする。 ※自由選択科目の履修を希望する場合は、個別にお問い合わせください。